

## 国際化学肥料ニュース (2015年5月)

### 肥料業界の2015年5月動態

- \* 5月1日、ロシアのUralkali社がインドIPL社と2015年度の塩化加里輸入契約を締結したと発表した。契約数量80万トン、価格がCFR332ドル/トンで、前年度より10ドル/トンの値上げである。契約期間が2015年5月～2016年3月である。  
これを受けて、他の加里肥料大手もインドと同じ価格で順次で契約する見通しとなる。
  
- \* 5月9日に開札されたインドIPL社の尿素入札結果は、入札数量320万トンプラス50万トン選択数量、最低入札価格CFR296ドル/トンで、CFR300ドル/トン未満の入札量が58.5万トンである。インドIPL社は入札価格の高騰で、契約数量を未定である。  
インドの2014年度尿素需要量約3100万トン、国内産2300万トン、輸入約800万トンであったが、昨年下半年から原油の国際価格の下落で、インド尿素メーカーは一斉に尿素的増産に走り、2015年の輸入量が半減するだろうとの観察もある。また、インドは尿素の入札にはまず購買予定数量を増し、貿易商の多数応札を誘導し、開札後、必要な分だけ応札価格の低い順で契約して、その他を切り捨てる戦略をとるのではないかと識者が見ている。
  
- \* 5月9日に開札されたインドIPL社の尿素入札は、その最終契約購入数量と価格が確定された。確定購入数量77.55万トン、落札価格CFR298.38～300.44ドル/トンである。落札した尿素はイラン、オマーン、カタールなど中東勢のものである。中国メーカーは中国政府組織の指導を受け、廉価輸出を自制した結果、中国尿素的の契約数量が極少量であった。
  
- \* インド政府は2015～2016肥料年度(2015年4月～2016年3月)のりん酸肥料と加里肥料の補助金政策を発表した。前年度と同じく、DAPの補助金は12350ルピー(約194ドル)/トン、塩化加里の補助金は9300ルピー(約146ドル)/トンである。不正を防ぐため、補助金は農村部の肥料小売業者が化学肥料を受け取ってからメーカーまたは輸入商社に支払う仕組みに変える。また、各州政府も化学肥料の品質をチェックして、不合格の肥料には補助金を支払わない。
  
- \* 5月13日、インド政府は尿素に関する新たな政策を公表した。2015～2016年度の尿素的国内生産量は2014～2015年度より100万トン多い2400～2500万トンに引き上げる。また、尿素的の小売価格を凍結する。

一方、5月15日にインド農業省も尿素輸入業務を一定期間に限って自由化する考えを披露した。即ち、承認された特定の輸入業者（ほとんど国営企業）しかできない現行の尿素入札制度を撤廃し、すべての貿易商が自由に入札を行うことができる。但し、輸入価格の高騰を防ぐため、CFR インド主要港 285 ドル/トンを上限にするという輸入価格制限を設ける。

\* ベラルーシ政府の統計によれば、2015年第1四半期の化成肥料輸出量が前年同期より18.4%増の19.8万トンとなり、金額が7%増の6131万ドルで、平均FOB価格309.6ドル/トンである。主な輸出先はリトアニア、ポーランド、ハンガリー、ルーマリア、チェコなどの東欧諸国である。

\* ロシア国営通信社の5月29日の報道によれば、2015年第1四半期、ロシアの加里肥料輸出が順調で、金額としては前年同期より64%増の10.57億ドルに達した。

\* ロシアからの情報によれば、ロシアのPhosAgro社はインドIPL社との間にこれからの3年間インドに135万トン化成肥料を輸出する覚書を交えた。金額では5.48億ドルを超える見通しである。

IPL社はインド最大の化学肥料輸入商社出、年間扱う肥料の輸入量が1,000万トンを超えた。一方、PhosAgro社はヨーロッパの大手化学肥料メーカーで、特にりん酸一安とりん酸二安のりん安系肥料では世界最大手である。

### 大手各社の営業業績

\* アメリカのIntrepid Potash社は今年第1四半期の業績を発表した。塩化加里生産量21.5万トン、販売量21万トン、平均販売価格が45ドル/トン上がり、360ドル/トンになった。また、硫酸苦土加里肥料販売量5.6万トン、平均販売価格404.5ドル/トンになった。従って、純利益が650万ドルで、前年同期より1725%も増加した。

\* アメリカの硫酸加里メーカーCompass Minerals社は今年第1四半期の業績を発表した。売上高が7%減の3.93億ドルであったが、販売価格の上昇で、純利益が逆に21%増の6060万ドルに達した。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

\* サウジアラビアのSafco社は、5本目の尿素生産ラインがすでに完成し、試運転を行い、6月末から正式運転開始と発表した。当該生産ラインは生産能力110万トン/年、投資額5.333億ドル、製品を全部輸出するという。

- \* イギリスの **Circum** 社はエチオピアの **Afar** 州 **Danakil** 盆地に 42 億トン加里鉱石の埋蔵量があると公表した。但し、エチオピア政府はこの発表について加里鉱石の埋蔵量をまだ確認中と慎重な姿勢を見せた。

**Circum** 社は **Danakil** 盆地に 10 年以上も加里資源の探鉱を行い、世界最大級の加里資源を発見した。**Circum** 社はすでに生産能力 272 万トン／年の塩化加里工場を建設する計画を立てた。

**Danakil** 盆地は最低点が海面下 116 メートルにもある乾燥塩湖を有する砂漠地域で、古くから岩塩の採掘が盛んである。**Circum** 社のほか数社も加里の探鉱を行っている。

- \* イギリスの **Sirius** 鉱産は、ノースヨーク国家公園管理署からクリーブランド市が地元の加里鉱山開発を許可する連絡を受けたと発表した。

ヨーク郡にある加里鉱山は主にポリハライト ( $K_2MgCa_2(SO_4)_4 \cdot 2H_2O$ ) であり、埋蔵量が13.5億トンで、世界最大級のポリハライト鉱山である。但し、ノースヨーク国家公園にあるため、環境への影響が恐れて、開発申請の審査に時間がかかった。

**Sirius** 鉱産によれば、投資額約10億ドル、鉱山の建設期間3年、2018年に第1期工事が完成し、50万トンの加里肥料を生産する。2020年に生産能力を120～130万トン／年に引き上げる予定である。

- \* ロシアの **Eurochem** 社は、アメリカに建設予定の窒素肥料工場がルイジアナ州のアイバール郡 (**Iberville Parish**) からセントジョンザバプテスト郡 (**St. John the Baptist Parish**) に変更すると発表した。当該窒素工場はアンモニア生産能力 70 万トン／年、尿素生産能力 100 万トン／年、投資額 15 億ドルの予定である。

- \* サウジアラビアは国王を委員長とする国家資源戦略委員会を設置した。国営 **Maaden** 社のりん酸肥料工場第 2 期建設が重要な課題に取り上げられた。90 億ドルを投資し、りん酸生産能力 150 万トン／年の工場を建設し、りん酸生産能力を 450 万トン／年に引き上げる計画を策定した。

## その他

- \* アメリカ地質調査所 (**USGS**) は、2014 年の世界加里生産国トップ 10 に関する調査報告を公表した。その順位は下記の通りである。

1 位	カナダ：	生産量 980 万トン。
2 位	ロシア：	生産量 620 万トン
3 位	中国：	生産量 440 万トン
4 位	ベラルーシ：	生産量 430 万トン
5 位	ドイツ：	生産量 300 万トン

- 6位 イスラエル： 生産量 250 万トン
- 7位 チリ： 生産量 110 万トン
- 8位 ヨルダン： 生産量 110 万トン
- 9位 アメリカ： 生産量 85 万トン
- 10位 イギリス： 生産量 47 万トン

- \* 5月25日、ロシア **Uralkali** 社が自社株の一部を買戻し消却する計画を公表した。  
**Uralkali** 社は発行済みの普通株数 **34894.91** 万株の **14.49** 万株を **3.2** ドル/株で、預託証券 **4097** 万株を **16** ドル/株の価格で買い戻す予定である。買戻し金額 **11.17** 億ドル、自社株 **11.89%**を消却する。
  
- \* 5月下旬、イスラエル **ICL** 社のストライキが終結した。去年 **12** 月からのストライキにより加里肥料の生産量の損失が約 **100** 万トンであった。